

WILDLIFE VIEW vol.7

ワイルドライフビュー7号



CONTENTS

Feature	蘇る! ニッポニアニッポン (トキ)
File1	サルからハンターへ (バスーン)
Column1	環境に合わせて進化し続けるウミヘビ (ウミヘビ)
File2	角のジレンマ (シロサイ)
File3	白金の王冠は、北の森に輝く (ヘラジカ)
File4	マダガスカル忍者 (カメレオン)
Column2	絶滅から救え・ユーラシアカワウソ (ユーラシアカワウソ)



FEATURE 蘇る! ニッポニアニッポン

まるで掌を太陽にかざしているかのような錯覚を与えてくれる薄紅色の翼、日本の国旗である日の丸をその顔に掲げているかのような不思議な紋様、そして美しく弧を描いた長い嘴をもつ大型の鳥、朱鷺。一度は野生種の絶滅が宣言されたが、人々の懸命な保護活動により再び空を舞い始めた。彼らは今、何を思っているのだろうか。

Photo : ©Masaaki Hada



FILE 2 角のジレンマ

サバンナでもひときわ目を引く存在感のシロサイは、どっしりと大地を踏みしめ、聴力に優れるラッパ型の大きな耳で警戒しつつも、草や木の葉を食べながら悠然と佇む。それもそのはず、陸上動物ではゾウに次ぐ巨体を誇るその体重は、1,800~2,700kg もあり、まばゆいまでに立派な角は 1.3m にもなる。そして、この角こそが、今彼らを絶滅へと追いやっているのだ。

Photo : ©Ann and Steve Toon



FILE 3 白金の王冠は北の森に輝く

深い闇が終わりを告げる黎明の頃、静寂が続く北の大地で小枝を踏み鳴らしながら木々の間を威風堂々と動く巨漢、ヘラジカ。まるでこの世に敵など存在しないといわんばかりの威厳を漂わせながら、幅 2m、重さ 20kg にもなる大きな角を持って余すかのようにゆっさゆっさと揺らし闊歩する。

Photo : ©Daniel J. Cox